

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
総合臨床実習技術論 B（実習ゼミ）		1	30	OT 4 年	前期
担当教員		授業形態		主な講義室	
石丸拓也・OT 教員		演習		201 教室	
目 標	臨床総合実習の内容・目標が理解できる。 評価から作業療法治療・訓練の一連の課程が理解できる。 職業人としての基本的な態度を身に着けることができる。 医療人としての倫理観を身に着けることができる。				
授 業 の 概 要	（実習前） 1. 臨床総合実習とは 2. 実習目標・実習課題について 3. 実習に関わる規定・実習注意事項 4. 実習関係書類の記載方法 5. 症例レポート作成方法について 6. 医療倫理・個人情報保護について 7. 領域別の評価について 8. 評価方法、評価結果分析について 9. 疾患・症状についての事前学習 10. 実習施設情報収集（実習施設発表）・実習関係書類作成 （実習終了後） 11. 実習報告会① 12. 実習報告会② 13. 実習報告会③ 14. 実習報告会④ 15. 実習報告会⑤				
教科書	総合臨床実習ガイドブック				
成 績 評価法	講義での参加態度、実習指導者による実習評価、実習報告会での報告内容にて行う。				

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
総合臨床技術論（国試ゼミ）		2	60	OT 4年	後期
担当教員		授業形態		主な講義室	
石丸拓也・OT 教員		講義		201 教室	
目 標	国家試験合格のための学力の向上を目的とする				
授 業 の 概 要	・ 学内模試の実施 12 回実施 				

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
臨床実習 C		16	720	OT4 年	前期
担当教員		授業形態		講義室	
石丸拓也・OT 教員		実習		各実習施設	
目 標	一般目標（GIO）：各疾患における評価，治療目標の設定，治療計画の立案，さらには治療実施を通じて，作業療法の基本的知識・技能の習得をはかることを目標とする．また，職業人・専門職としての基本的な態度の習得をはかる． 行動目標（SBO）： ・対象者の疾患と治療の概要を説明できる． ・必要な面接・観察・検査・測定の項目を列挙できる． ・得られた情報や検査・測定の結果を記録することができる． ・得られた情報や検査・測定の結果を基に問題点を列挙できる． ・障害の変化を予測し，説明できる． ・長期、短期目標を設定できる． ・必要な治療や指導を列挙できる． ・実施する治療計画を具体的に立案し，実施できる． ・実施内容を記録できる． ・再評価により作業療法の効果判定ができる． ・新たな短期目標の設定と長期目標の確認ができる． ・再評価結果に基づき作業療法計画の修正や変更ができる． ・今後の作業療法の方向性を検討することができる． ・組織の概要，管理業務の概要を説明できる．				
授 業 の 概 要	・実習期間 Ⅰ期:平成 30 年 4 月 23 日（月）～6 月 22 日（金） Ⅱ期:平成 30 年 7 月 9 日（月）～9 月 7 日（金） ・実習報告会 Ⅰ期:6 月 27 日～28 日，Ⅱ期:9 月 12 日～13 日 ・実習に関わる準備等は、総合臨床実習技術論 B(実習ゼミ)で行う．				
教科書	臨床実習 C ガイドブック				
成 績 評価法	形成的評価:実習指導者による評価 総括的評価:各期実習報告会での報告内容，実習への取り組み方等を総合的に判断し評定する．				
備 考					

